

支援部便り

平成23年度
地域支援部

第2号
文責 伊瀬知

暦の上では、「立春」を迎えたところですが、とても寒い日が続いていますね。
3学期も半ばに入りました。今年度のまとめだけでなく、来年度へ向けて準備を整えていく時期でもありますね。



本校でも、2月の初めから「個別の教育支援計画検討会」が実施されています。来年度の「個別の教育支援計画」作成に向けて、担任だけでなく、その子に関わる複数の教師で、指導課題などを検討していきます。子どもたち一人一人の成長や課題などについて、みんなで確認していくことができるよい機会でもあります。



巡回相談についても、2学期の後半から3学期初めにかけては、来年度の就学や進級、進路に向けての相談が多かったようです。節目のこの時期、子どもさんや保護者、家族をはじめ、取り巻く人々のいろいろな思いや願いが交錯します。不安や心配を少しでも減らし、子どもさん自身のためにより良い方向へ進んでいくにはどうしたらよいのか、みんなの願いは共通だと思のですが、時に難しく、スムーズに行かないこともあります。巡回相談の中でも、いろいろと考えさせられることの多い時期でもありました。

研修会・学習会などの紹介

特別支援教育に関する、いろいろな研修会や学習会が実施されていますが、今回は最近参加した会について、報告したいと思います。

伊敷台地区特別支援教育学習会

〈12月2日(金)伊敷台小校区公民館〉

伊敷台中学校区の伊敷小、伊敷台小、伊敷台中の特別支援教育コーディネーターの方々が中心となって、昨年度より立ち上げられた学習会です。今年度は2回開催されました。2回目は「就学についてお話しませんか」ということで、伊敷台地区の幼稚園・保育園、児童クラブ、学校関係の職員だけでなく、保護者の方々も参加されていました。

特別支援学級や特別支援学校の日常生活や学習の様子を紹介や、鹿児島高等特別支援学校についての最新情報、卒業生の進路情報などについての情報提供がありました。いつもながら、打ち解けて話のしやすい雰囲気の中で、充実した情報交換ができました。

特別支援学校のことを皆さんに知っていただくいい機会でしたので、皆与志養護学校の様子も少し紹介させていただきました。

第9回「鹿児島よかど会」学習会

〈12月17日(土)谷山北公民館〉

中山小学校の先生が中心となって、平成21年から立ち上げられている自主学習グループです。学校関係だけでなく各界で活躍されている方を講師に招いて、いろいろな企画をされているようです。

今回は、クイーンズランド大学(オーストラリア)のクリスタ・ヴァン・クライノード教授による「多様性に応じた指導」という講演がありました。通常学級にいる様々なニーズを持つ子どもたちにどのような指導をしていけばよいか、オーストラリアでの実践例を交えながらのお話(通訳付き)でした。子どもたちの学習の仕方や速度の違いや様々なニーズなどを把握し、全ての子どもの多様性を尊重した指導を行うための方法や例など、興味深い内容がたくさんありました。海外の教育の様子を知るというのも、なかなか新鮮で刺激になる体験でした。

【日本版WISC-IV(ウィスク・フォー)知能検査について】

WISC-III知能検査の改訂版として、2011年1月に日本版WISC-IV知能検査が発売されました。(WISC-IIIは、引き続きしばらくは活用されていくと考えられます)

WISC-IVの実施、解釈、アセスメントの手順は複雑であり、必ず適切な訓練を受けた者でなければ実施できないとされています。より専門的な研修や慎重な取り扱いが必要とされるようです。

